



今後の事業展開について

2024年10月29日

株式会社ツインバード 証券コード：6897

目次

1. VISION 2030 ～長期ビジョン～ ※2024/4/26(金)開示済
2. 中期経営計画 2023-2025 ※2024/4/26(金)開示済
3. 2025年2月期 通期業績見通しについて
4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

目次

1. **VISION 2030 ～長期ビジョン～** ※2024/4/26(金)開示済
2. 中期経営計画 2023-2025 ※2024/4/26(金)開示済
3. 2025年2月期 通期業績見通しについて
4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

ツインバードの経営理念・パーパスと「VISION 2030」

経営理念

感動と快適さを提供する商品の開発
相互信頼を通じた豊かな関係作り
快活な職場づくりへの参画と社会の発展への寄与
自己の成長と豊かな生活の実現

パーパス

1. 感動と快適さの提供により、人々の「持続可能な幸せ」を創造する
2. 燕三条地域特性を生かした付加価値創造により、地域経済成長を牽引する
3. グローバル視点で活動し、国内外の社会課題を解決する

VISION 2030

「お客様満足No.1」のその先へ
～燕三条発のイノベーションで、世界中の人々に持続可能な幸せを提供するブランドになる～

VISION 2030：家電製品事業

家電製品事業

ブランド投資を結実させ、「熱狂的なファン」100万人を獲得する！

国内市場

- ・ 燕三条発のイノベーションで、お客様の「一番美味しい」「一番快適な」を創造する製品群を提供する
- ・ 家電製品事業で確立したブランド資産をレバレッジし、事業領域を拡大する

海外市場

- ・ 市場環境に合わせ自社ブランドとOEMを使い分け、東アジア市場に加え、経済成長著しい東南アジア市場を開拓する

VISION 2030 : FPSC事業*

FPSC事業

世界の人々の健康と、持続可能な社会づくりに貢献する！

- 医療・バイオ分野
- 化学・エネルギー分野
- 計測・環境分野
- 食品・流通分野

- ・ パンデミックで立証されたFPSC冷凍機の高い信頼性を武器に成長するグローバルコールドチェーン市場に向け、低温～超低温までカバーする冷凍庫・冷凍運搬庫を提供する
- ・ 性能担保に必須となる定期保守サービスを事業化する

- 脱炭素への貢献

- ・ 脱炭素に取り組む企業に対し、省電力・低排熱など FPSCエンジンの優れた環境性能を訴求し、既存冷却装置の置き換えを進める

*FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー 詳細は14頁を参照

中期経営計画2023-2025の位置づけ

VISION 2030

「お客様満足No.1」のその先へ

～燕三条発のイノベーションで、世界中の人々に持続可能な幸せを提供するブランドになる～

既存商品点数を半減、商品
ポートフォリオを最適化

HOP

中期経営計画 2020-2022

事業構造を筋肉質に転換
強化した財務体質を活用し
収益事業で成長を目指す

「匠」から「仕組み」へ

STEP

中期経営計画 2023-2025

バリューチェーンの仕組み化と
積極的な新商品開発投資により
成長のフレームワークを作る

非連続な事業成長のフェーズへ

JUMP

中期経営計画 2026-2028

お客様に販売する店舗網を構築し
ツインバードの世界観を表現する
デジタルやM&Aを活用し、グロー
バルにスケールする

2020

2021

2022

2023

2024

2025

2026

2027

2028

2029

2030

目次

1. VISION 2030 ～長期ビジョン～ ※2024/4/26(金)開示済
2. **中期経営計画 2023-2025** ※2024/4/26(金)開示済
3. 2025年2月期 通期業績見通しについて
4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

中期経営計画2023-2025の骨子



家電製品事業：「匠プレミアム」と「感動シンプル」ブランドライン



Takumi Premium

あの匠の技を、好きなだけ。
「匠プレミアム」



匠の技術・暗黙知を家電の力で具現化する「Takumi Premium」



Kando Simple

シンプルって、こんなに豊かだ。
「感動シンプル」



生活者の”不”を最もシンプルな形で解消する「Kando Simple」

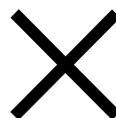
家電製品事業：需要の大きな生活必需品のラインナップ強化

需要の大きな生活必需品カテゴリーに、ツインバードの独自性あふれる製品を小型から中型までのラインナップで拡充する。このため、積極的な新商品開発投資を実行する。

増加する単独・少人数世帯

ターゲットを絞った商品作り

- ・ミニマリズム
- ・独自のライフスタイル
- ・趣味やこだわり
- ・ブランドより機能優先
- ・SDGsへの共感
- ・値段よりこだわり
- ・良いモノを長く使う
- ・ストーリーへの共感



注力カテゴリーのラインナップ化

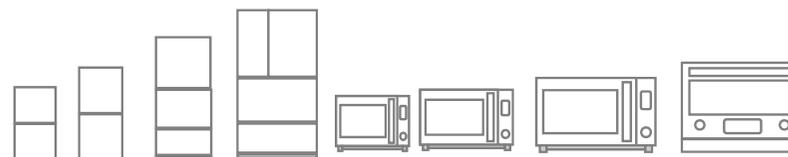
注力カテゴリー

リピートやライフステージごとの買替需要も見込める需要の大きな生活必需品

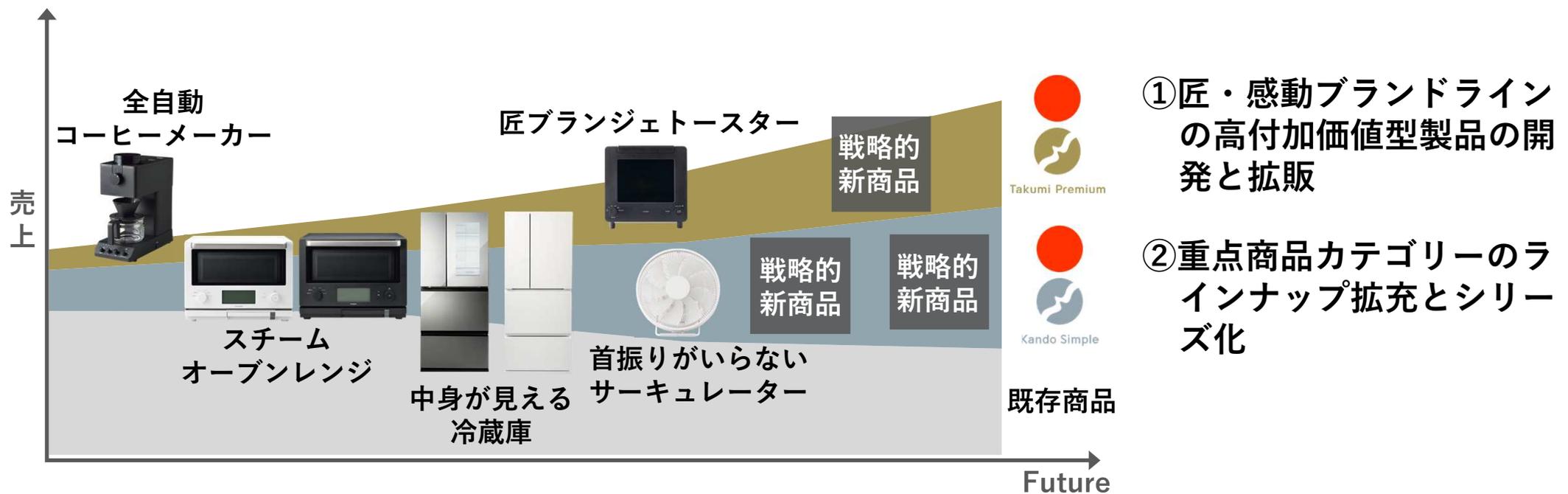
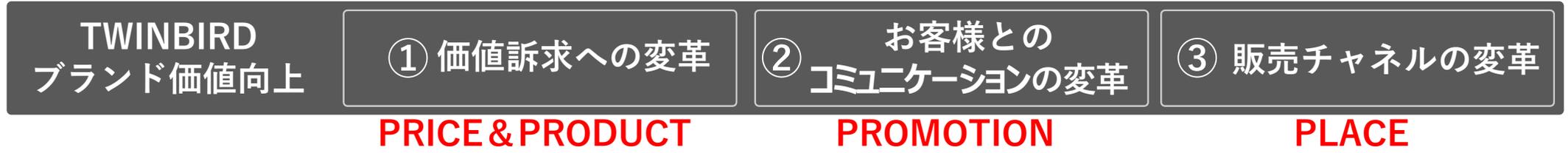


シリーズ化

お客様にお選びいただきやすく
ご販売しやすい商品ラインナップ



家電製品事業：収益性向上と成長のシナリオ



・ 図はイメージを表現しています。

【免責事項】 ・ 上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

家電製品事業：海外市場の開拓

- ・ 東アジア市場に加え、事業パートナーとの協業により東南アジア市場を開拓

自社ブランド事業の展開



東アジア市場 の事業例

事例：東アジア市場でのブランド展開

CM-D457TWB：匠_全自動珈琲メーカー（台湾市場）

TB70：感動_充電式スティック型クリーナー等（韓国市場）

OEM事業の展開



事例：東アジア市場でのOEM事業

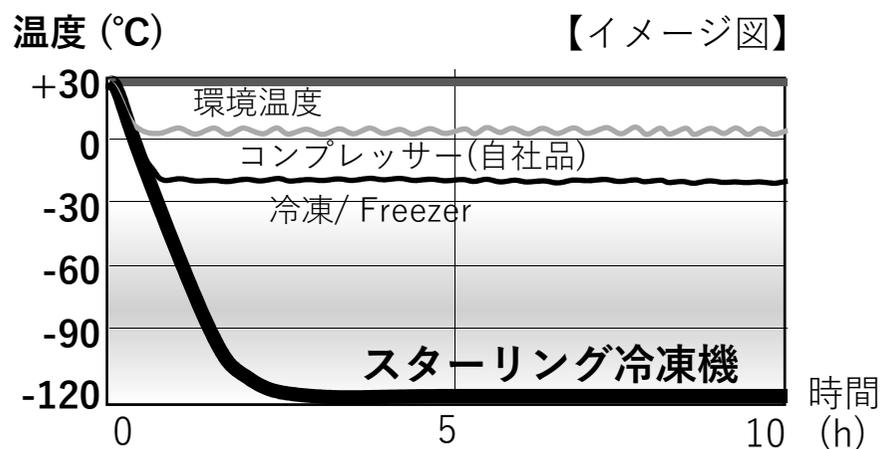
英会話知育教材の共同開発

BR2：Mickey Mouse Blu-ray MATE

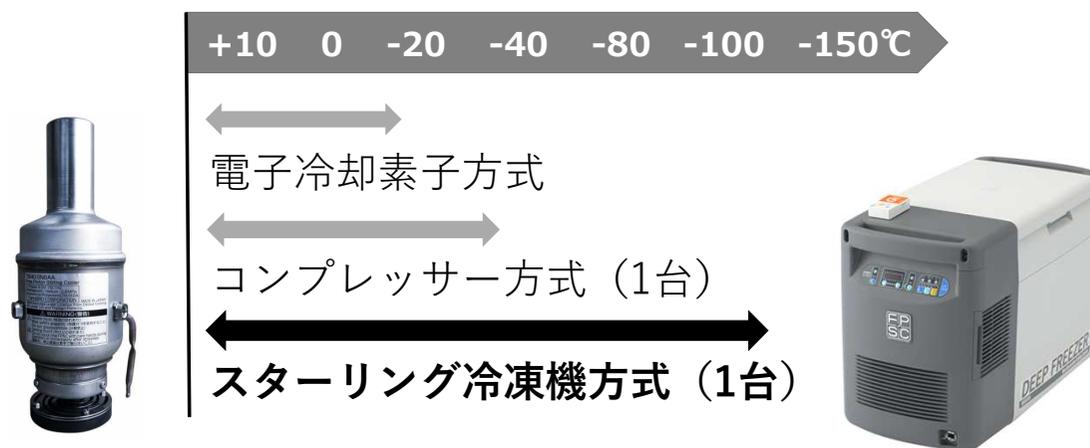
※ World Family English Ltd.様とのビジネス

FPSC事業：フリー・ピストン・スターリング冷凍機の特長

1. 厳密な温度制御



2. 極低温領域への適用



3. コンパクト・ポータブル

- 車で冷凍したまま運搬OK
- 停電時は車両電源で安全保管

4. 環境にやさしい

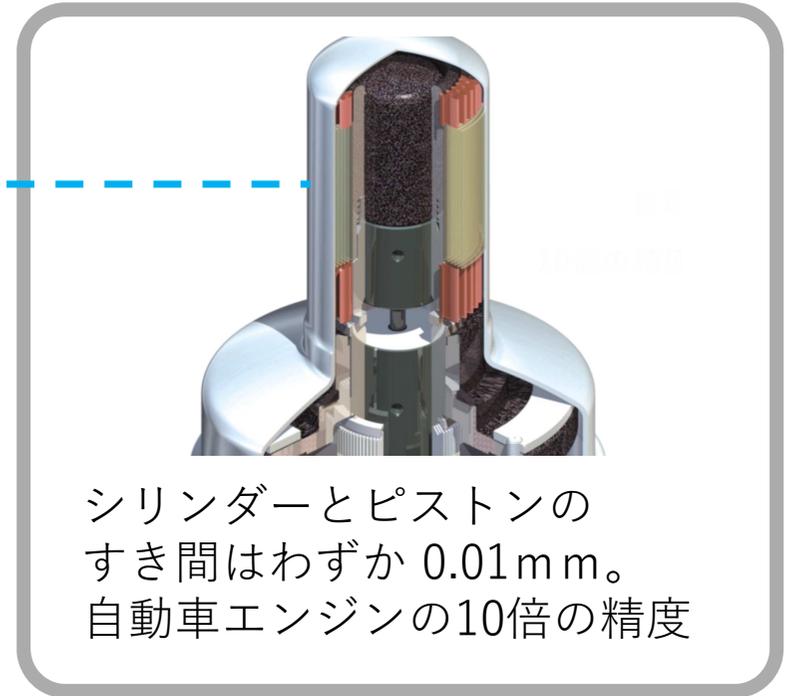
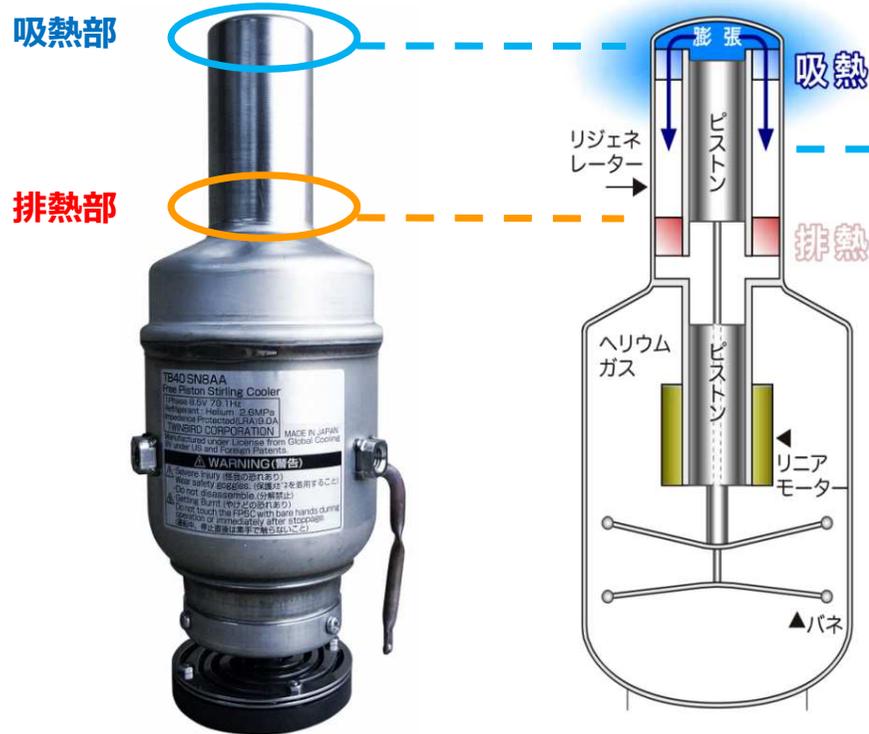
- 冷媒にフロン不使用
- 省エネルギー設計

5. 高い信頼性

- メンテナンスが容易

FPSC事業：新潟県燕三条地域の金属加工技術とクラフトマンシップ

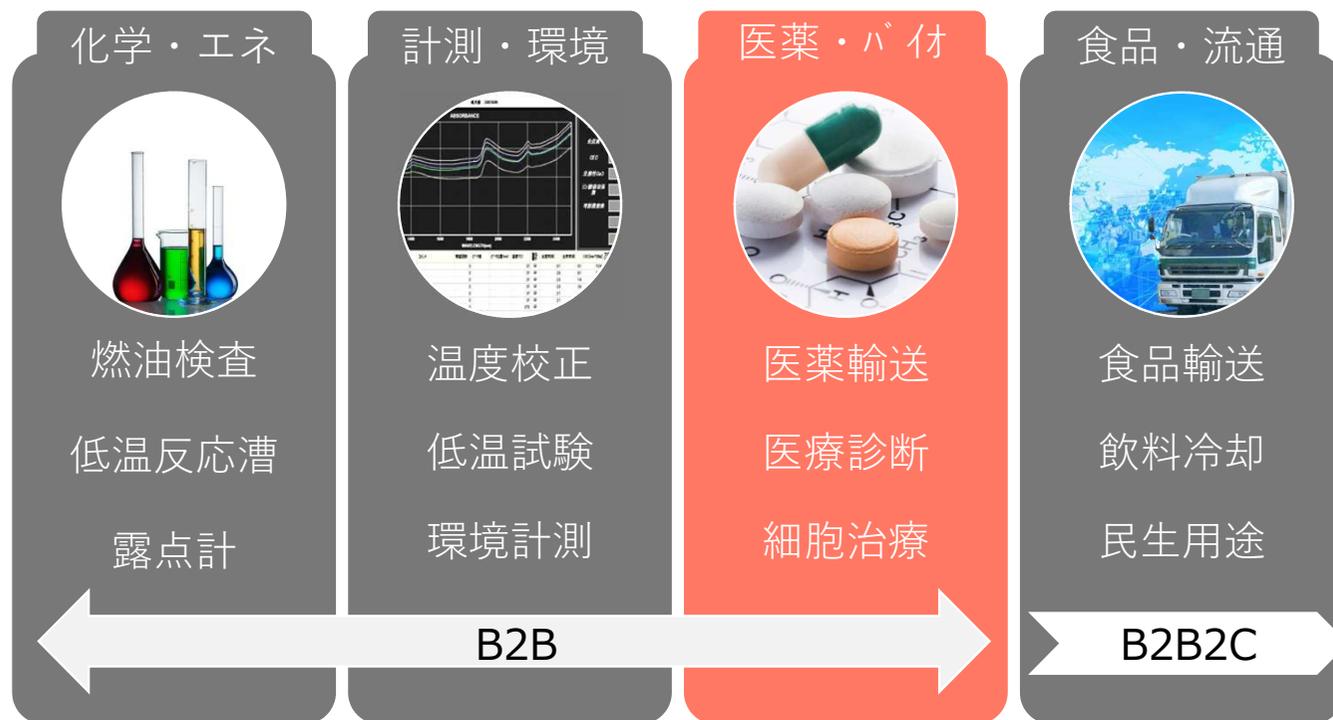
- 燕三条地域の職人の技と金属加工技術により、FPSC冷凍機の量産化を実現
- 約150点の高精度部品からなるFPSC冷凍機は、リニアモーターでシリンダー内のピストンを上下に動作制御し、シリンダー内ヘリウムガスの断熱膨張時の吸熱反応により冷却
断熱圧縮時の発熱は熱交換器で効率よく空冷排熱



FPSC事業：注力4分野と主要な地域

- 注力する4分野においては、特に「医薬・バイオ」の成長を想定

注力4分野



※新冷却技術 FPSC (フリー・ピストン・スターリング・クーラー)

主要な地域

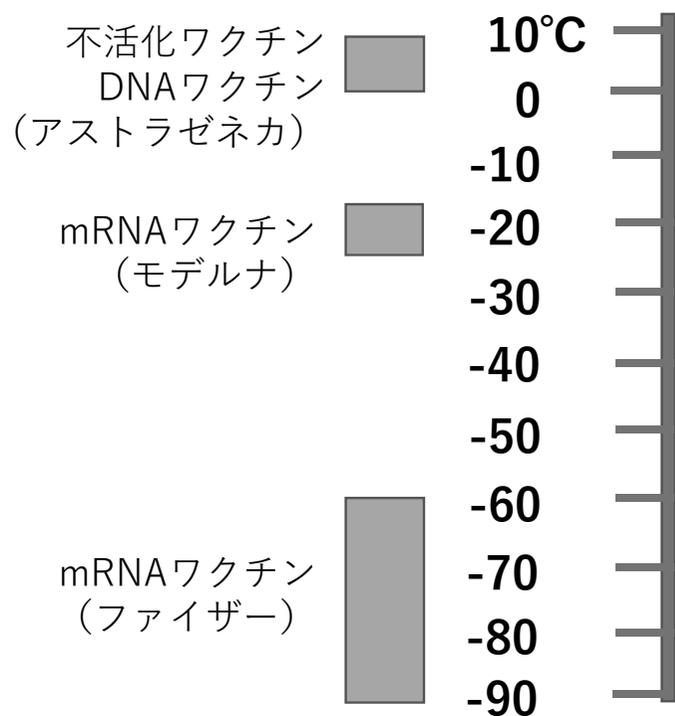
北米および欧州



FPSC事業：FPSC技術の優位性

ラストワンマイル(接種会場への輸送)における多様なワクチンの管理温度帯に対応

【ワクチン管理温度*】



TWINBIRD

バイオ・ワクチン保冷ボックス
SC-BV25
冷蔵温度帯+4 ± 2°C



TWINBIRD

ディープフリーザー25L
SC-DF25
冷蔵冷凍温度帯+10 ~ -40°C



Global Cooling Inc.

Stirling Ultracold製UTL25NEU
※当社がフリーザーボックス供給
冷凍・極冷凍温度帯 -20 ~ -86°C



* 厚生労働省資料等を基に当社作成、管理温度は最長有効期間の貯法での温度帯

FPSC事業：医薬品コールドチェーン構築による新たな事業領域への挑戦

遺伝子型ワクチンのコールドチェーン構築実績とFPSC方式の技術優位性で新たな事業展開を推進

遺伝子型ワクチン（mRNA*）での 安全安心なコールドチェーン構築実績

- 厚生労働省が採択した唯一の可搬型武田モデルナ社製ワクチン用低温冷凍庫
- 国内12,000台を超える出荷実績、ワクチン接種現場での安心安全の使用実績



* モデルナワクチン、ファイザーワクチン



FPSC方式の技術的優位性の活用

- コンプレッサー方式や他の冷却方式と比較した技術的優位性を活用して事業開発
 - ① 可搬性に優れ「搬送」「保管」で継続使用可能
 - ② 冷蔵・冷凍・**極冷凍**で1°C刻みの温度設定可能
 - ③ 家電同様の使い易さ、国内生産で高い信頼性
 - ④ 省電力、家庭用電源 およびシガー電源に対応

【免責事項】

- 上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

厳格な温度管理が求められる コールドチェーンへ展開拡大



病院治療

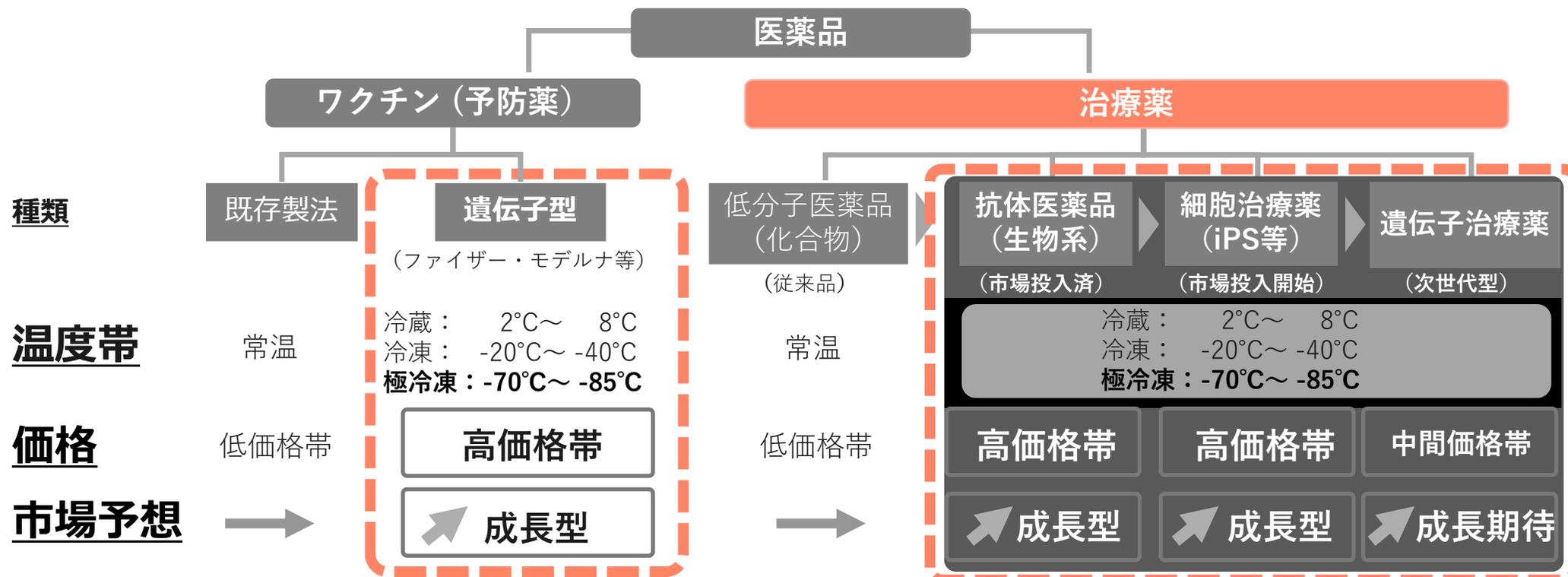
医療研究

治験

先進的治療薬

FPSC事業：医薬品分野の「コールドチェーン構築」への貢献

ワクチン（予防薬）に加えて、治療薬（抗体医薬品、細胞治療薬、遺伝子治療薬）を含むバイオ医薬品市場はグローバル成長市場であり、バイオ医薬品のコールドチェーンにスターリング冷凍技術の活用を推進

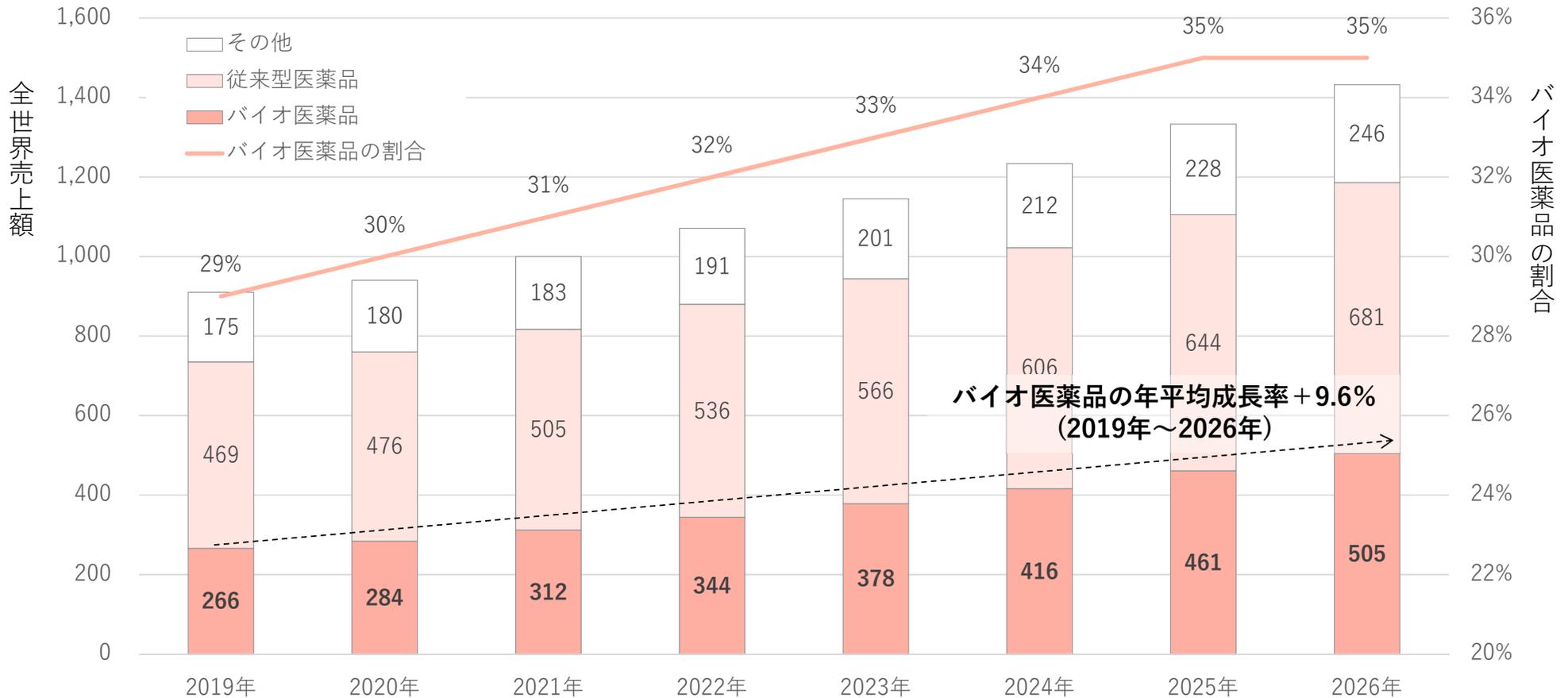


【免責事項】

上記記述内容には、将来の見通しや取組み内容に関する記述が含まれています。これらの記述は、当該資料を作成した時点における情報や予測に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

FPSC事業：バイオ医薬品市場は年率9.6%成長と拡大基調

バイオ医薬品の搬送や保管には、厳密な温度管理（冷凍-20~-40℃ 極冷凍-70~-85℃）の
 コールドチェーン構築が不可欠



バイオ医薬品の年平均成長率 +9.6%
 (2019年~2026年)

出典：EvaluatePharma, Worldwide Prescription Drug & OTC Sales by Technology (2012-2026)

FPSC事業：グローバルコールドチェーンのスタンダード技術をめざして



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社は SDGsの一つである「すべての人に健康と福祉を」の達成に向けて、国内外のネットワークを通じ、グローバル規模での最新技術に基づくコールドチェーンの構築や医療サービスの拡充に参画し、当社スターリング冷凍技術が医療分野でスタンダードの一つとなるよう取り組んでまいります。

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

2025

売上高

150億円

(2022年度比 +37.2%)

営業利益

8億円

(2022年度比 20倍)

営業利益率

5.3%

(2022年度比 +4.9 pt)

ROE

5.0%以上

DOE

1.8%以上

PBR

1.0倍以上

2023-2025 (3年間累計)

戦略的投資

55億円※

(前中計期間比 +20億円)

※キャッシュベース

商品開発投資

33億円

(前中計期間比 +10億円)

減価償却費

19億円

(前中計期間比 +8億円)

- 前中計期間（2020-2022）において強化した財務体質を活用するとともに、収益改善によりキャッシュ創出力をさらに高め、今後も積極的に戦略的投資を実行
- 本中計期間（2023-2025）では、匠・感動製品を中心にラインナップ拡充を実現する商品開発投資（研究開発費、金型投資）やブランディング投資を継続的に実行
- 2024年度稼働予定のサプライチェーンマネジメントシステムにより業務効率向上を大きく実現
- 家電製品事業のグローバル展開やFPSC事業に関する投資も継続し、販路拡大を企図

目次

1. VISION 2030 ～長期ビジョン～ ※2024/4/26(金)開示済
2. 中期経営計画 2023-2025 ※2024/4/26(金)開示済
3. **2025年2月期 通期業績見通しについて**
4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

再掲) 2025年2月期 通期業績予想 (2024年4月12日公表値から変更なし)

- 家電製品事業は、最大の需要期である年末商戦及び新生活商戦において、匠プレミアムブランドラインの全自動コーヒーマーカーや匠ブランジェトースターが売上に貢献するとともに、調理家電や全自動洗濯機等の新製品を集中投入して売上拡大を見込む。またインバウンド宿泊需要で好調なホテル向け製品や、入替え需要が回復している病院向け冷蔵庫、デベロッパ向け浴室テレビなどについて、決算期末需要で売上の増加が見込まれることから、前期比増収となる見込み。利益面では、当社の強みであるギフト及びソリューションチャンネルの底堅い利益貢献に加え、販売好調な調理家電を中心に大幅な原価低減を進め収益性の改善を図る。さらに、国内製造の増加で自社工場の稼働率が向上し、前期より増益の見込み。
- FPSC事業は、年+9.6%成長*のバイオ医薬品市場における搬送・保管には、ドライアイスの使用に取って代わる厳密な温度管理（冷凍-20~-40°C 極冷凍-70~-85°C）のコールドチェーン構築が不可欠。FPSCの独自技術がグローバル市場でも高く評価され、燃油計測機や校正器などの分野において、欧米を中心に複数の企業と契約へ向け開発着手。世界保健機関（WHO）が定める医療機材品質認証（PQS：Performance, Quality and Safety）を2024年10月に取得。今後各国で医療機材を選定する際の基準となるWHOのPQSカタログに掲載。ワクチン運搬庫の海外販売活動を強化。

*出典：EvaluatePharma, Worldwide Prescription Drug & OTC Sales by Technology (2012-2026)

単位：百万円	2024年度	2023年度		
	通期 業績予想	通期 実績	前期比 差額	前期比 増減率
売上高	10,500	10,303	197	1.9%
営業利益	200	113	87	77.0%
売上高比	1.9%	1.1%	0.8pt	
経常利益	180	166	14	8.4%
当期純利益	130	108	22	20.4%

家電製品事業：①好評の「匠プレミアム」シリーズに新色投入し更なる販売伸長へ

メディア露出や口コミなどによる認知向上や体験機会を増やすことにより、「全自動コーヒーメーカー」「匠ブランジェトースター」ともに進行期は出荷台数が前年を超えて順調に伸長。需要が伸びる下期に利益貢献度の高い「匠プレミアム」シリーズに新色ホワイトを追加し、さらなる売上拡大を図る。



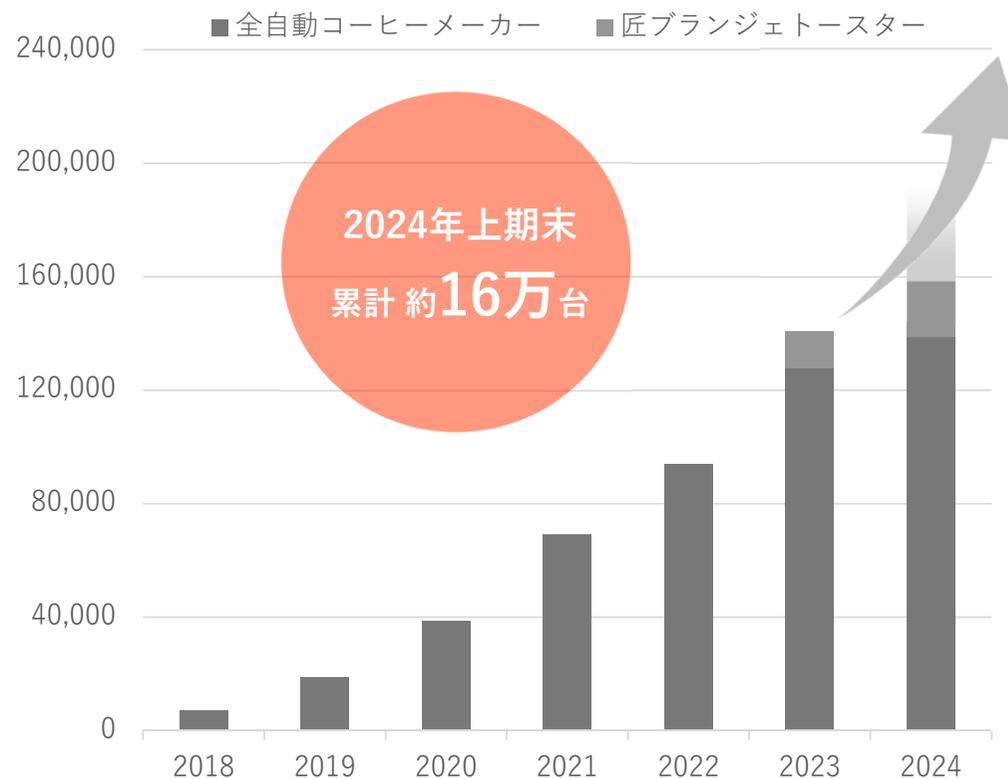
全自動コーヒーメーカー 3杯用 (CM-D457W)

2024年10月25日 発売

匠ブランジェトースター (TS-D486W)

2024年11月1日 発売予定

(台) 匠プレミアム代表製品 累計出荷台数



2024年上半期末
累計約16万台

家電製品事業：②新製品の集中投入（第3四半期以降に17機種の新製品）

需要の大きな生活必需品カテゴリーのラインナップを拡充中。また、最大需要期である年末年始商戦、新生活商戦に向け、全チャネル通じて下期17機種（前年比3機種増）の新製品を発売し売上に寄与。



**はやくておいしい
3合IH炊飯器**
ホワイト9月発売
ブラック12月発売予定

3mm厚丸釜、大火力IH
1000Wではやく、おいしく、
いつでも炊きたて。



**サイクロン
スティック型
クリーナー**
9月発売

軽さとパワーを兼ね
備えたシンプルで使
いやすい掃除機で、
部屋中しっかり掃除。



**センサー付フラット
オーブンレンジ**
9月発売

高精度赤外線センサー
搭載で自動で適温あた
ため。庫内フラットで
お手入れらくらく。



電子レンジ
10月発売予定

とにかくシンプル操作
で使いやすさを追求し
た、単機能エントリー
モデルの電子レンジ。



**9kg
洗濯機**

11月発売予定

液体洗剤・柔軟剤自動
投入。時短、経済的、
繊維の奥からきれいに
洗濯。



**23L
単機能レンジ**

1月発売予定

単機能エントリーモデ
ルながら、23L大容量、
高出力1000W、時短
モード搭載。

家電製品事業：③インバウンド需要（ホテル向け）に対する取り組み

対前年比30%強伸びると予想^(※1)されるインバウンド宿泊需要の拡大で好調なホテル、マンスリーマンション向け製品提案を強化し、オリジナル製品を含む冷蔵庫・洗濯機・電子レンジなどのラインナップで拡販。さらに、入替え需要が回復している病院向け冷蔵庫、住宅設備業界向け浴室テレビなどの決算期末需要で売上増加を見込む。



新製品



インバーター式
1ドア冷蔵庫
(TR-V32)
24年11月発売予定

導入・ランニングコスト、
メンテナンス性、静音性、
設置性などのご要望に
お応えする新製品

多彩なラインナップ例



(※1)出典：日本政府観光局「年別 訪日外客数、出国日本人数の推移（1964-2022）」／株式会社JTB「2024年（1月～12月）の旅行動向見通し」

家電製品事業：④地域創生への貢献

TWINBIRDブランド製品を通じてより多くの方に新潟県、燕市を応援していただけるように、ふるさと納税最盛期の11～12月に向けて約20製品を新たにご提案。また、納税者がより積極的に参加できるクーポンを導入。



ふるさと納税の市場規模の推移



出典：ふるさと納税ガイドHP

●追加製品例



匠ブランドトースター (TS-D486B)



首振りがいらぬサーキュレーター (KJ-D783W)

●クーポン導入 (燕市)



※金額はイメージです。



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



家電製品事業：⑤お客様起点での商品開発の推進（企画開発）

販売現場での商品説明・実演

主要家電量販店の大型店舗を中心に、ツインバード製品を集合展示することで世界観を構築。対話や実演による実売の後押しに加え、ユーザーの潜在ニーズを発掘し、高付加価値型製品のスピーディーな企画開発へ繋げる。



家電製品事業：⑥お客様起点での商品開発の推進（品質）

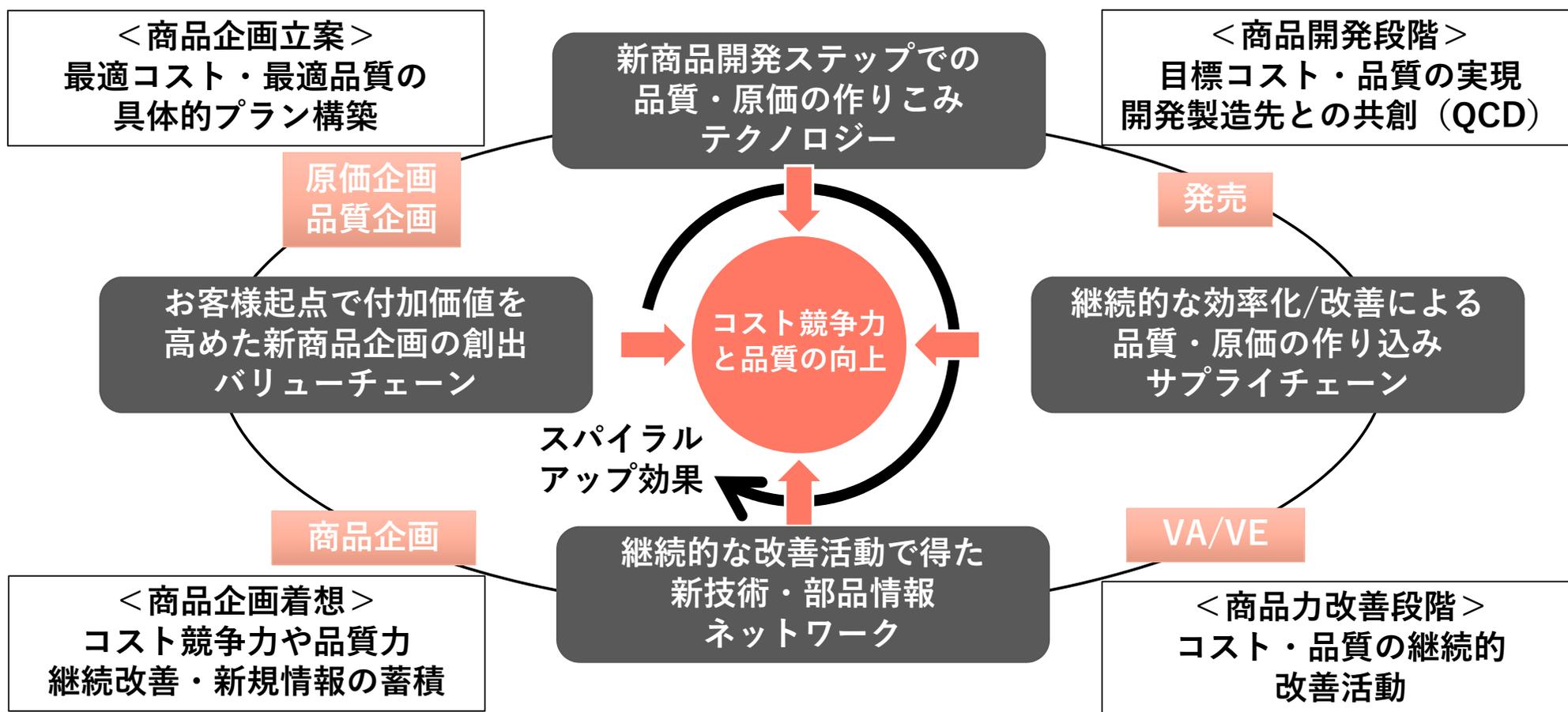
お客様宅への訪問修理

冷蔵庫、洗濯機、浴室テレビを対象に、2024年7月から関東エリアに拠点を設け出張修理開始、10月から関西エリアへ拡大。お客様宅への訪問修理において社員自らがお客様と直接対話する機会を得て、貴重なお客様のお声をタイムリーに開発チームや製造工場へフィードバック。さらに高品質な製品開発製造へ繋げる。



家電製品事業：⑦継続的な品質・原価の作り込み

商品企画→原価・品質企画→販売→VA/VEを通じた活動によるスパイラルアップ効果で品質の向上と原価低減を図る



家電製品事業：⑧国内製造回帰の推進

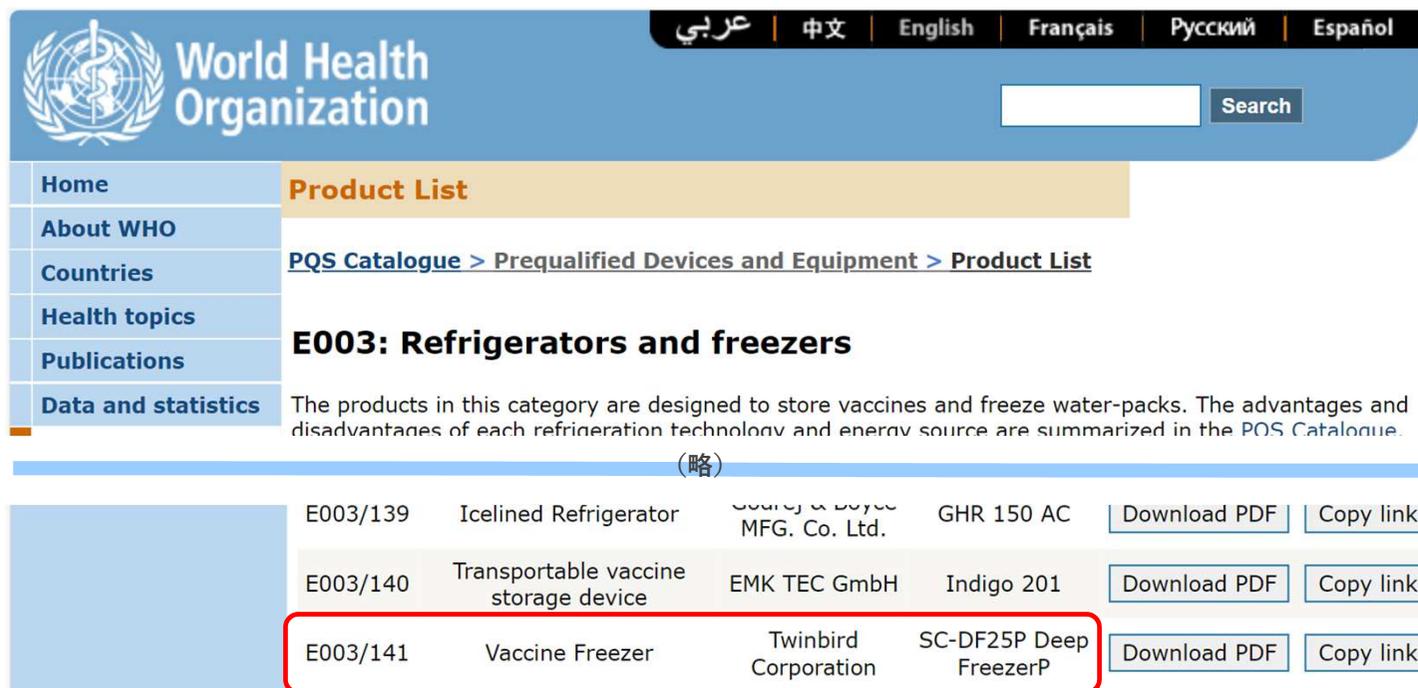
販売堅調な「全自動コーヒーマーカー」に続き、「匠ブランジェトースター」を新潟本社工場に製造移管。燕三条地域の製造ネットワークを通じた国内製造強化により為替変動の影響度を低減。現中期経営計画(2023-2025)期間中に順次国内製造移管を実施し、**国内製造比率を現在の30%から50%を目指す。**



FPSC事業：⑨WHOの国際認証(PQS認証)取得

2024年10月国際認証取得 ～世界のユーザーにお選びいただくためのパスポート～

WHO認可による医療機材の認証制度であるPQS(Performance, Quality and Safety)認証は、UNICEFなどの国際機関をはじめ世界的な慈善団体等の機材選定基準。認証取得によりWHOの台帳に掲載され国際入札の対象に。日本国内では3例目^(※1)、E003カテゴリー（ワクチン冷凍庫・ワクチン冷蔵庫）では日本初の取得。



The screenshot shows the WHO PQS Catalogue website. The header includes the WHO logo and navigation links in Arabic, Chinese, English, French, Russian, and Spanish. The main content area is titled "E003: Refrigerators and freezers" and includes a description of the products. Below this is a table listing three products, with the third product, the SC-DF25P Deep FreezerP, highlighted with a red box.

Product ID	Product Name	Manufacturer	Model	Download PDF	Copy link
E003/139	Icelined Refrigerator	MFG. Co. Ltd.	GHR 150 AC	Download PDF	Copy link
E003/140	Transportable vaccine storage device	EMK TEC GmbH	Indigo 201	Download PDF	Copy link
E003/141	Vaccine Freezer	Twinbird Corporation	SC-DF25P Deep FreezerP	Download PDF	Copy link



SC-DF25P
ディープフリーザーP

出典：世界保健機関(WHO)ホームページ
https://apps.who.int/immunization_standards/vaccine_quality/pqs_catalogue/categorypage.aspx?id_cat=17

(※1) 2024年10月現在、全カテゴリーを通じて

FPSC事業：⑩WHOの「国際認証(PQS認証)取得」によるグローバル展開の加速

新型コロナウイルス用ワクチン運搬庫で実証されたFPSCの高い信頼性に加え、WHO認可のPQS認証取得を活かして事業展開加速。



2021年～2023年
新型コロナワクチン運搬庫を、全国の自治体や大手企業の職域接種に使用頂く。製品の信頼性を実証。



2021年～
日本政府による新興国緊急支援（ラストワンマイル支援）を通じて、東ティモール、モザンビーク、セネガル、モンゴル、パレスチナ、バヌアツへ製品供給。

写真提供: JICA
保冷輸送・保管モデル(SC-BV25)



2024年～
医薬品製造設備・化学・分析機器に関する世界最大の展示会ACHEMAに出展。FPSCの独自技術がグローバル市場でも高く評価され、複数の企業と契約へ向け開発着手。

- ・ 国内ワクチン運搬庫12,000台以上供給の実績
- ・ 途上国向けワクチン運搬庫供給の実績
- ・ WHO認可のPQS認証取得の実績



- ・ 国際機関などへのロビーイングを通じた広報活動
- ・ 国内外の病院や大学などの研究施設への営業活動

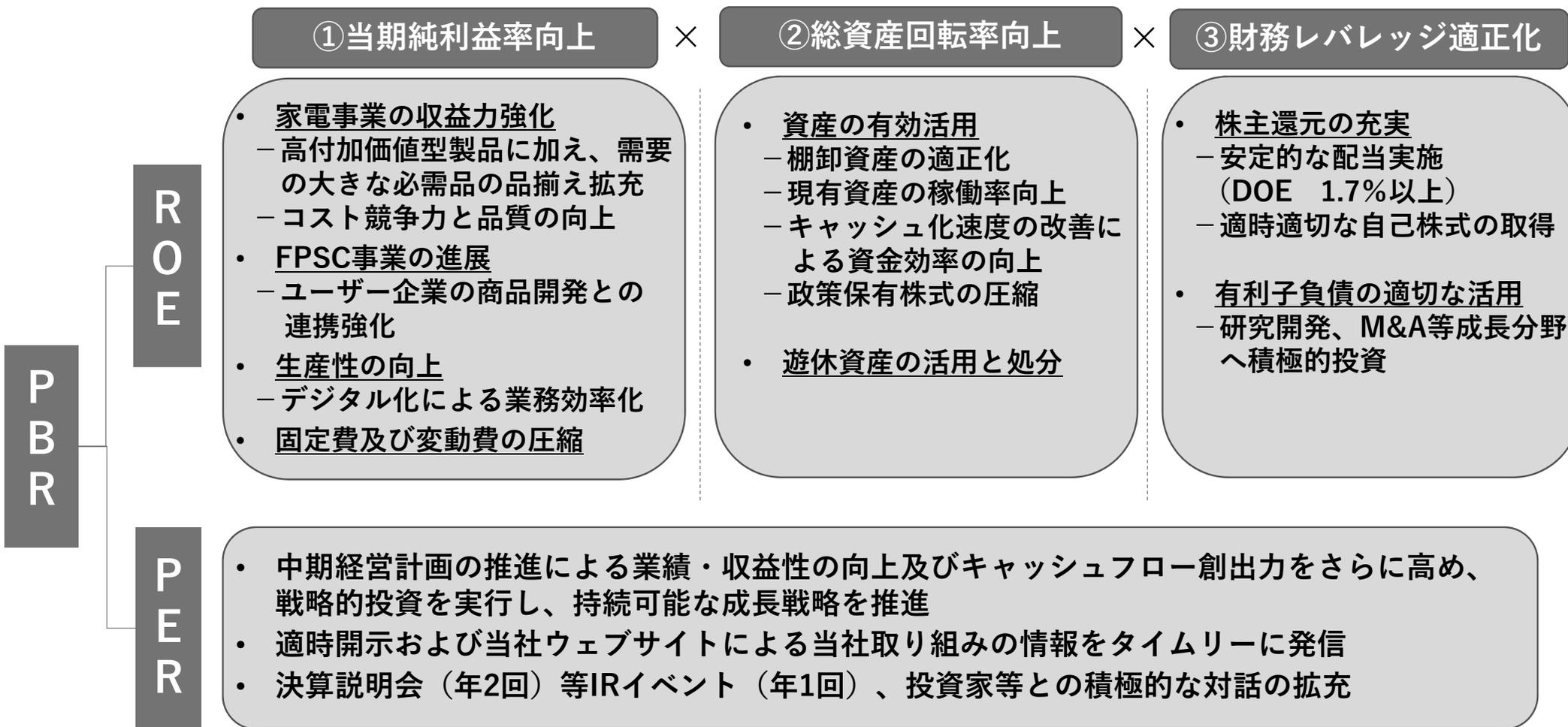


グローバル展開の加速

目次

1. VISION 2030 ～長期ビジョン～ ※2024/4/26(金)開示済
2. 中期経営計画 2023-2025 ※2024/4/26(金)開示済
3. 2025年2月期 通期業績見通しについて
4. **資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて**

資本収益性・市場評価の改善に向けた取り組み



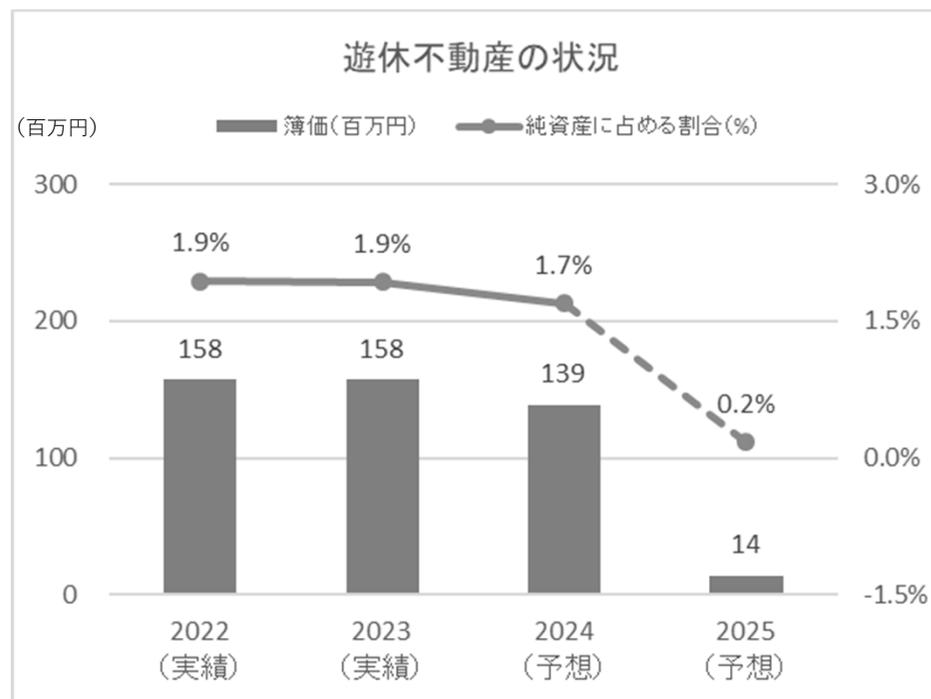
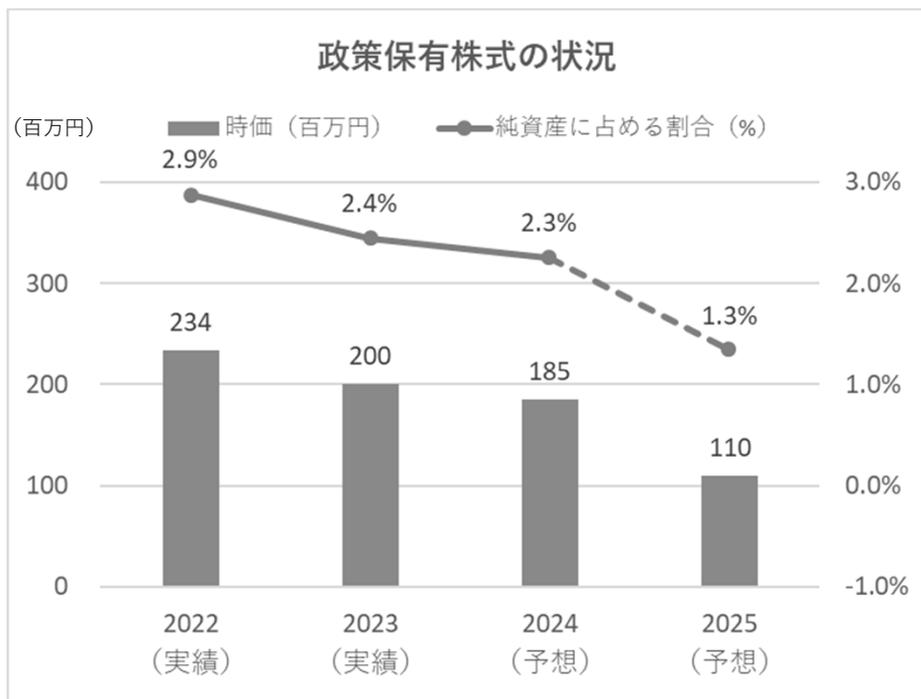
②総資産回転率向上：政策保有株式・遊休不動産の圧縮状況

【政策保有株式】

2023年に2銘柄、2024年に1銘柄を売却実施
2025年も取引状況等を注視しながら売却を進める

【遊休不動産】

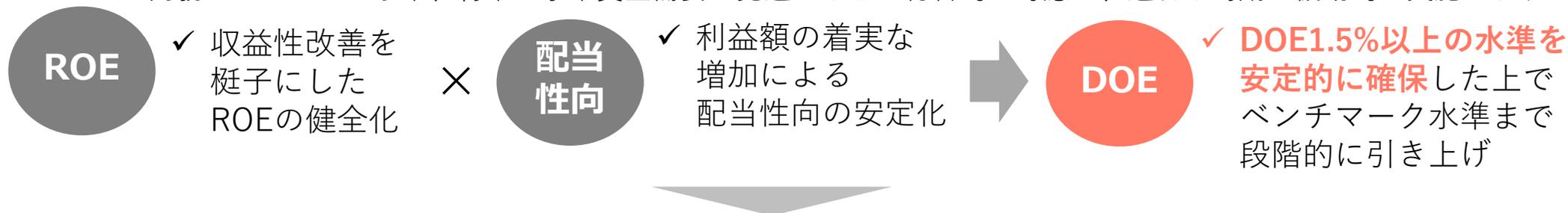
2024年に関東地域に所有していた社宅1物件を売却
引き続き遊休不動産3物件（旧本社跡地、寮跡地）の売却を進める



③財務レバレッジ適正化： 再掲) 2025年2月期 中間配当

【当社株主還元政策の基本的考え方】

- 当社は企業価値の向上により、株主価値を高めることを経営の重要課題と認識しております。業績を向上させ財務体質の強化を図ることで、安定的かつ持続可能な株主還元（配当・自己株式取得）をおこなうことを基本方針としています
- 配当については、DOE1.5%以上の水準を安定的に確保し、段階的に引き上げることを目指しております
- 一方、自己株式の取得については、資本効率向上などを目的として、経営環境、業績動向、並びにフリー・キャッシュ・フローや財務レバレッジの水準、将来の事業資金需要の見通しなどを総合的に考慮し、適切な時期に機動的に実施します



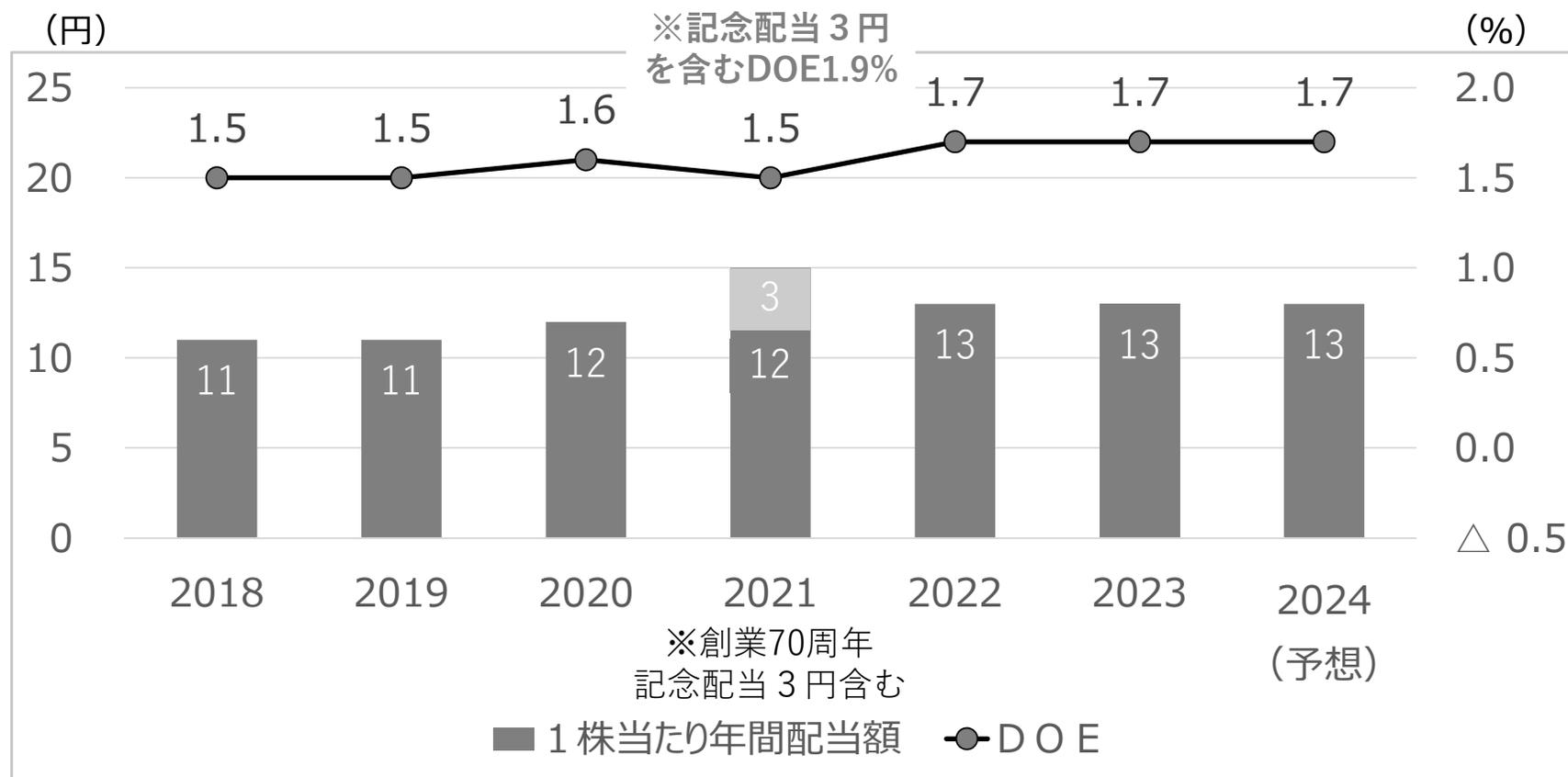
第63期（2024年3月1日～2025年2月28日） 中間配当

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 中間配当金 | 当社普通株式1株当たり3円 |
| 2. 支払総額 | 32,718,648円（株式数10,906,216株×3円） |
| 3. 配当の効力が生じる日 | 2024年11月12日 |

③財務レバレッジ適正化： 再掲) 1株当たり年間配当額、純資産配当率(DOE)

中間配当は当初予想どおり1株当たり3円を支給

年間配当は1株当たり13円(中間配当3円、期末配当10円) DOEは1.7%を予想



③財務レバレッジ適正化： 株主優待特設サイトの開設（2024年5月）

1万4千人の株主様を対象に「株主優待特設サイト」を開設
株主様に良いお買い物体験をして頂き満足度を向上する

配当利回り 2.8% + 優待利回り 4.3% = 7.1% ※1



※画像はイメージです

TWINBIRDの人気商品を株主様だけの**特別価格**で販売

株主様にお送りする**ご優待クーポン**でさらにお得に

全品送料無料などさらなる特典も

※1 配当金額は1株当たり13円、株価は2024年8月末日の株価にて算出。 ※2 ツインバード公式オンラインストア販売価格 ※3 株主優待制度の詳細につきましては当社公式ホームページをご確認ください。

免責事項：株主優待制度に関する内容は将来変更となる可能性があることにご留意ください。



TWINBIRD

IR・決算に関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 取締役最高財務責任者 企画管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。